

【報告】大盛況「親子でこいのぼりをつくろう」イベント（年中組新設検討小委員会）

♪やねよーりーたあかあい、こいのぼーりー♪年中組の体験イベントに来てくれたお友達が、大きな声で歌ってくれました。しょうこ先生が、カレンダーで数えながら「あと8回ねると、こどもの日だよ」「こいは、滝も登れる元気な魚、こいのように元気な子供になってほしいという願いを込めた日です」とお話ししてくださっていた時は、小さい子用の椅子にちょこんとすわった子供たちは少し緊張していた様子でしたが、歌が始まったら目がキラキラと輝いて、音に合わせて体が揺れだして、わくわくが伝わってきます。



こいのぼり、かぶと、ちまき、かしわもち、しょうぶ、、こどもの日にちなんだものを紹介したのち、子供たちはお母さんやお父さんにお手伝いしてもらって、とってもかっこいい「かぶと」を作りました。次はこいのぼり作りです。「黒くておおきのが まごい だよー」しょうこ先生の声が響きます。「これから目玉を4枚くばります」「えらの場所をよく見て、貼り付けてね」「おりがみを、びりびりちぎって、うろこにします」「ちょっと聞いてみてー」おりがみをちぎる音に子供たちが耳をすまします。好きな色のおりがみや千代紙をちぎって、鯉にお洋服を着せていきます。「棒の先にある金色の風車は“ここに、元気な子供がいますよ”というしるしなんですって」というお話のあとには、またこいのぼりの歌を歌って、さようならとなりました。



こいのぼり作り

事前に保護者の方に共有された「活動計画表」には、学校での経験をより深く楽しいものにするため、ご家庭で使っていただきたい言葉や、生活の中で経験してほしいことなど、家庭での会話においてヒントになることが詰まっていました。きっとお家で、こいのぼりの歌を聞いてきてくれたお子さんも多かったのではないのでしょうか。

土曜日だけの日本語使用と日常生活で使う日本語だけでは、このアメリカで子供たちが日本語を習得するのは難しいのが現実です。「活動計画表」を通じて、「日常ではあまり使わない日本語」を生活の中に積極的に取り込むことができます。「わたし、この歌知ってる!」という子供の興味を最大限に引き出すこの取り組みが「共働学習」です。「活動計画表」と「共働学習」については[こちらの資料](#)をご覧ください。年中組の生徒募集は5月中旬の予定です。ご登録のメールに最新情報をお送りしております。ご興味のある方は、[こちらから](#)ご登録ください。



高梨彰子先生

年中組体験イベントを担当しました高梨彰子と申します。声が大きい先生です。好きな食べ物はお寿司とアイスクリーム、嫌いな食べ物は特にありません。元気100倍アンパンマンのように元気なところと明るいところが取りえです。そして機械オンチなところが短所です。

日本で幼稚園教諭の免許を取得し、東京の幼稚園で勤務し、ワシントン日本語学校の幼稚部では、8年がたちました。私は、この日本語学校を高校2年生まで通い卒業した長男・長女と現在高校1年生の次女の3人の子供の保護者でもあります。ワシントン日本語学校で日本の文化や伝統とともに学んできた友人ができたこと、何より日本語で勉強してきたことは、私の子供たちの日本語学校で得た自信となり、自慢できることのようにです。

日本大好き子がたくさんになるように、これからも幼稚部の先生を頑張っていきたいと思います。子供の宿題をみてあげること、毎週のお弁当作り、送迎と大変ですが、大切なお子さんのために共働学習を頑張っていきたいと思います！どうぞよろしくお願いいたします！

【報告】ホワイトハウスでの歓迎式典に出席しました

4月10日、岸田文雄首相の訪米に合わせ、ホワイトハウスで開催された歓迎式典に本校生徒が参加しました。出席に際し、日本国大使館をはじめ本校事務局や学校関係者の方々に全面的にご協力いただき、感謝申し上げます。参加した生徒たちは、日米の両首脳に直接会う貴重な経験をどう感じたのでしょうか？管理運営委員長、栗原美恵さんに当日の様子を振り返っていただくとともに、アンケートに寄せられた生徒や保護者、教職員からの感想をご紹介します。

式典に参加して -栗原美恵（管理運営委員長）-

幼稚部から高等部までの児童・生徒、付き添いの教職員などあわせて約230名が、ホワイトハウスで開催された岸田首相訪米歓迎式典に参加しました。当初は100～150名程度の参加に限定されるというお話が、在アメリカ合衆国日本国大使館のお取り計らいにより、希望者全員の参加を許可していただきました。

当日の朝、土曜日の学校では普段着で汚れても良い恰好の子供たちが、この日ばかりは皆正装。集合場所に集まった子供たちは、点呼の後、先生方に引率されて、集合場所からホワイトハウス入場のためのチェックポイントへ向かいました。ここからは、式典出席者が並ぶ長い長い列に続きます。チェックポイントでは自分の生年月日と名前を言って係の人に登録状況を確認してもらいます。更に進んで空港にあるようなセキュリティーチェックを終えると、ホワイトハウスの建物がますます近くに見えてきました。

ここからさらに会場へ向かいます。通路脇に立つ様々な軍服の方に「Welcome to the White House!」とにこやかに迎えていただきながら、歩を進めます。門をくぐり、会場となるホワイトハウス敷地内のサウス・ローン（South Lawn）という庭園へ向かう際に、少しだけホワイトハウスの建物の中を通ることができました。ここでも係の方々の笑顔に迎えられながら、式典のプログラムと日米の旗を受け取りました。テレビで見たことのある景色の裏側を覗く気分で歩きながら、事前に指定された着席グループと立ち見（芝生席）グループごとに案内され、さらに式典開始時間まで1時間以上待つこととなりました。



正装で集まる生徒たち



一瞬通り抜けた
ホワイトハウス



立見席の生徒たち

幸い待ち時間中は良い具合に雲がかかっていて暑すぎることはありませんでしたが、長い待ち時間が退屈だったのでしょう、貰った旗を振り回しすぎてもはや棒だけになっている子供や、立ったり座ったり忙しい子供もいました。でも、付き添いの先生方のご協力もあり、大騒ぎになることもなく時間を過ごすことができたように思います。上級生たちは、持参したスマホで写真を撮るなど、周りの友達とおしゃべりをしながら時間を過ごしていたようでした。

式典開始時間が近づくと、ホワイトハウスのバルコニーからお琴の演奏が聞こえてきました。その後は、ホワイトハウスへ向かって日米の国旗を掲げて行進するたくさんの軍人、庭園へ入場するカラーガード（旗衛隊）や米軍四軍種（陸軍、海兵隊、海軍、空軍）の行進が見え始め、軍のマーチングバンドの演奏も始まり、いよいよ式典開始間近なのが分かりました。子供たちも興味深そうに行進を見つめていました。





旗をふる生徒たち

着席グループからは、バイデン大統領と岸田首相が立つステージは少し見づらかったのですが、続く 19 発の礼砲（19 Gun Salute）、日本の国歌、アメリカの国歌が演奏された後、閲兵式（Review of Troops）で庭園を歩く両首脳の姿は子供たちにも良く見えたのではないかと思います。バイデン大統領、岸田首相のスピーチが終わると、両首脳がステージからホワイトハウスのバルコニーへ移動しました。そこから式典参加者へ手を振り、参加者は日米の旗を振って応えます。子供たちもここぞとばかりに大きく旗を振っていました。

式典の間は太陽が顔を出してかなり暑かったのですが、退出する途中で提供された紙コップ入りのお水を飲んで、一息つくことができました。会場には日本語学校の生徒だけでなく、とにかく大勢の人がいましたので、式典が終わったからと言ってすぐ出口にいくことができるわけではなく、入ってきた時と同じように、ゆっくりと進む

列に辛抱強く並びます。長い時間をかけてやっと門の外へたどり着きました。

ホワイトハウスの門から出て、「ホワイトハウスから出ちゃったねー」と残念そうに話す生徒たちの声を聞きながら、「この中から将来こういった式典にもっと重要な役割で招待を受ける、あるいは招待する側にいる子も現れるかもしれない！」と、付き添いの私は逆にわくわくした気持ちになりながらホワイトハウスを後にしました。



最後になりましたが、様々な不確定要素を含む状況の中、最後の最後まで本式典参加に関する調整と安全対策を進めてくださった事務局の皆様には、心より御礼を申し上げます。

とても誇らしい気持ちになりました。2カ国の首脳に会える機会などそうそうあるものではないし、彼らは私の文化のリーダーでもあるからです。（小6）

着席の人たちと立ち見の席に随分差があって、立ち見の僕たちはちょっと遠かったです。撮影用のドローンが面白かったのと大砲は格好良かったと思います。（中1）

高校生が下の学年を補助し、下の子たちを誘導するのが大変でしたが、人生に一回あるかないかの経験を得られたのがとても嬉しかったです。（高1）

子供たちがホワイトハウスのスタッフにお礼の挨拶を言うと、「こんにちは」「ありがとう」などと日本語で話しかけてくれ子供たちは嬉しそうでした。（教員）

高校生が素晴らしいリーダーとなって低学年への声掛けを常にしてくれました。日本に居たら絶対に体験できなかったこの経験を光栄に思います。（教員）

貴重な経験ができました。低学年の子は立って待つのは辛そうでしたが、式典までも式典でも静かにして、よく頑張ったと思います。（教員）

兄弟を一緒にグループにして欲しかったです。正しい情報が分かりにくかったけれど、大きな国際交流に参加でき良い経験だったと思います。（保護者）

補習校に通っていたからこそその列席が叶ったため、本人の今後の補習校通学のモチベーション向上にも役立つと思います。写真が入手できず残念です。（保護者）

正式な一国の党首のレセプションを体験するのは初めてで、感無量でした。周りの子供たちの興奮も伝わってきて、とてもおもしろかったです。（運営委員）

子供たちは 19 Gun Salute を楽しみにしていたようで、職員の方に「どうして 19 なのか知ってる？」など聞かれ会話するなどのんびりしていました。（運営委員）

2024 年度前期管理運営委員会メンバーと各部の業務内容をご紹介します

ワシントン日本語学校の運営方針を協議・決定する管理運営委員会は、20 名の常任運営委員（保護者の中から選出される 19 名の委員と校長）で構成されています。昨年度末から総会にかけて、卒業や任期満了で退任した委員が多数いたため大幅にメンバーが交代し、新委員長、新副委員長のものと新たな体制で今年度前期の管理運営委員会がスタートしました。本号では前期の管理運営委員会メンバーとともに、各部の業務内容や今年度の目標をご紹介します。

栗原委員長

コロナ禍が明けて対面の日本語学校生活に戻ってから 3 年目となりました。この、対面で日本国内の学校と同等の授業を行うという日本語学校最大の魅力を大切にしつつ、生徒、保護者、そして教えてくださる先生方にとってより良い環境が提供できるよう、毎月 1 回の運営委員会では様々な案件について話し合っています。

多様なバックグラウンドを持つ委員同士が、学び合うことができるのも管理運営委員会の良いところです。引き続き、皆様のご理解ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

牛嶋副委員長

財務部委員月次監査担当を経て、2024 年度より副委員長兼パートナーシップ部部長を務めております。



栗原委員長（左）

牛嶋副委員長（右）

副委員長として、栗原委員長のサポートや、月次管理運営委員会での議事進行は勿論、今年度より新設されたパートナーシップ部が安定稼働するように努めます。

ワシントン日本語学校は長い歴史と伝統を保有し、DMV エリアの日本語コミュニティの重要なプレイヤーの一つと認識しております。これまで積み重ねてきた信頼と伝統を大切にしつつ、時代の変化や外部環境を見据えて、さらに魅力的な学校になるような取り組みができるよう努めます。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

パートナーシップ部 partnership@wjls.org

パートナーシップ部は今年度より新設された部署です。名前の通り、ワシントン日本語学校と企業様や団体様等と、様々な企画や取り組みを通じて「パートナーシップ/連携」を強化し、学校の魅力を向上させることを企図しております。



新設の部署ということもあり、管理運営委員内では、副委員長が暫定的にパートナーシップ部部長を兼務するという 1 名体制でのスタートになりました。パートナーシップ部の取り組みを種々サポートしていただく心強い保護者役割 13 名が加わり活動をスタートさせます。まずは、パートナーシップ部の安定稼働が喫緊の課題ですので、ファンドレイズ企画の既存企画を移管することや、新たに運用を開始する学校公式インスタグラムアカウントの運用に注力いたします。これらと並行して、学校の魅力向上に資する取り組みも企画していく予定です。「こんなアイデアはどう？」「〇〇の補習校ではこんな取り組みをやっているよ」といったアドバイスをいつでも募集しておりますので、学校内で見かけましたらお気軽にお声がけください。お待ちしております！

総務部 somu@wjls.org

総務部は5名体制で、ワシントン日本語学校の活動全般にわたって対応しています。主な役割は以下の通りです。

- ①年度末の卒園式・卒業式、年度始めの入学式、及び年中間の運動会・特別授業といった大型行事の運営
- ②保護者のお手伝い作業、及び安全当番・図書当番などの円滑な運営
- ③放課後活動の運営サポート、サイエンスサロンの対応
- ④授業や学校運営に関わるITサポート
- ⑤学内の安全管理体制の維持・強化
- ⑥WJLSに関連する文書規定類の管理

本校の魅力を更に高め、児童・生徒が一層充実した学校生活を送れるよう活動してまいりますので、引き続きご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



鶴見委員、大杉委員、松林部長
足立委員、松田委員

教育人事部 kj@wjls.org



羽田委員、大島部長、ジャコブソン委員
松山委員、向山委員

メンバー4人が入れ替わり、新しい風が吹き込んだ教育人事部です。教育人事部ではこれまでの既存の業務に加えて、新しい企画を始めています。一つ目は学校ツアーです。これはみらい共育小委員会から引き継ぎました。日本語学校に興味があるけど迷っているという方たちをお迎えして学校を見学していただいております。

また教育関連の講演会を、知見の多い専門の外部団体と共催し、ファンドレイズの企画として提供するという新しい試みをパートナーシップ部と共同で始めました。様々な興味や皆様の「知りたい、学びたい」を共同購入の形式で効率的に提供することを目的にしています。さらに、これまで運営委員会が、一から計画していた企画と実施を外注し、実施に至る人

的成本を軽減することにも役立っています。

こんなことを知りたい、学びたいというご提案がありましたら、教育人事部に[メール](#)でお寄せください。最後に本校を生徒が楽しく学べる、また、先生にとって働きやすい場所にするため、教育人事部として努力していきたいと思えます。

財務部 zaimu@wjls.org

財務部は、日本語学校の月次監査等を通じた予算執行のレビューと次年度予算の策定を行うほか、各部署からの提案に対して財務の観点から助言・提案することが主な業務です。今年度の重点事項として、財政健全化を目指した方針の執行と経営安定基金を含む資本金の管理、また新しく立ち上がったパートナーシップ部のサポートを通じて外部への寄付要請の模索、聖心SR校との借用契約更新の交渉作業のサポート等があります。12月には毎年恒例の青い封筒募金、年明けには募金参加者を対象としたラッフルも開催する予定ですので、皆様どうぞ奮ってご参加ください。



グリフィン部長（左）
生島委員（右）

広報部 koho@wjls.org



竹内部長（左）
ワイズ委員（右）

広報部は今年度新メンバーを迎え、新たなスタートを切りました。毎月の運営委員会の議事録とみらい通信の作成を交互に担当しています。そのほか、ウェブサイトの更新や Facebook ページへの投稿、総会の取りまとめ、講演会の開催、広告やチラシ申請の対応が主な業務です。

総務部 IT サポートや事務局と協力し、今年度も継続して学校のウェブサイトのリニューアルを行います。またパートナーシップ部と連携し、Facebook でも本校ならではの魅力が発信できるよう工夫していきます。財務部が主導する青い封筒募金キャンペーンの支援者拡大や、同窓生へのアウトリーチにも力を入れたい考えです。みらい通信や講演会で取り上げてほしい話題などがありましたら、ぜひ広報部までお知らせください。

学年代表 gakunendaihyo@wjls.org

今回 4 月から 2 名の学年代表が入れ替わりしました。学年代表は保護者と管理運営委員会の架け橋（窓口）の一つとして、学級代表との連絡・サポート、保護者役割の割り当てなどの業務を介して保護者からの意見を集約し、日本語学校の運営の一端を担っています。管理運営委員会の一員として、学校、保護者の皆様と協力し、子供たちがより楽しく学ぶことができるように、3 人でチームワークよく精一杯努力していきます。ご意見、ご要望等ございましたらお気軽にご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。学年代表は保護者から一番近い運営委員です。活動に興味のある方、次回の学年代表に立候補されたい方はぜひご連絡ください。



大鶴高学年代表、シーブルック中学年代表
大島低学年代表（左から）

特別管理運営委員（特別委員）

20 名の常任委員に加え、管理運営委員会には現在 6 名の特別委員がいます。特別委員は委員会での投票権を持たないものの、学校運営について協議・決定する際に専門知識や幅広い見地を反映するために設けられているものです。運営委員会での承認により就任します。教頭と事務局長が特別委員を務めるほか、今年度はエドワード・グリフィンさんに校舎契約に関して、財務部、事務局への支援をしていただく予定です。



グリフィン特別委員（左）
河野特別委員（右）



竹村特別委員、渡辺特別委員

また運営委員の交代時に新体制への移行を円滑にするため、退任委員が特別委員に就任する場合があります。2022 年 10 月まで管理運営委員長、昨年度は創立 65 周年記念事業実行小委員会の委員長を務めた渡辺特別委員が、今年度も引き続き新運営委員会をバックアップします。竹村特別委員は、IT サポートの引継ぎ業務が円滑に行われるようサポートします。河野特別委員は、パートナーシップ部の安定運営に向けた活動、及び広報部との業務調整を支援します。

各運営委員・特別委員は、生徒だけでなく、学校に関わる全ての方にとってより素晴らしい学校となるよう、それぞれの立場で力を尽くしてまいります。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。また学校運営に少しでも関心のある保護者の方は、ぜひ管理運営委員会 uneiiinkai@wjls.org までお知らせください。

新運営委員のご紹介



足立 智子

初めまして、今年から総務部でお手伝いさせていただくことになりました足立です。小4の娘は補習校がとても楽しいらしく漢字テストができなくてもへっちゃらで毎週元気に通っております。私はアメリカに渡ってかれこれ36年が経ってしまい娘に漢字を聞かれてもグーグルしなければならぬような状況です。現在ジョーンズ・ホプキンスで地理情報システム（GIS）について学んでいます。GISはビジネスから科学まで多岐多様な活用が可能です。補習校の運営に何かしらお役に立てるのではないかと考えております。最近日本語もおぼつかなくなってきましたが、学校運営に少しでもお手伝いできれば幸いです。



大鶴 絵理

このたび高学年代表として運営委員会に参加させていただくことになりました。夫と息子2人と犬(ミニゴールドンドゥール)の4人(+1匹)家族で、長男(中3)が小学4年生の時からワシントン日本語学校でお世話になっています。子供たちはアメリカ生まれアメリカ育ちでバイリンガル教育には大変苦労していますが、毎週日本文化に触れ日本の教育を受けられる環境があることに感謝しております。子供たちによりよい学びの環境を提供できるような学校づくりのお手伝いできればと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



生島 奈美

このたび財務部でお手伝いさせていただくことになりました生島と申します。中3の娘と小6の息子がおります。2015年まで5年ほどアメリカに住んだ後、東南アジア駐在を経て昨年の8月に再び戻ってまいりました。前赴任地の補習校と比べ子供も私もワシントン日本語学校の規模の大きさに圧倒されていますが、規模に関係なく日本語学校は、日本という背景をもちつつも他国で育つ子供たちの心のオアシス的な場所であり、また、学業や日本語能力を維持・向上させてくれる貴重な場であると実感しています。私も微力ながら、学校運営のお役に立てるように精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ワイズ 洋子

4月より運営に携わることになりましたワイズ洋子と申します。息子が6年生でお世話になっております。家族3人オハイオ、カリフォルニア、東京を経て現在はバージニアに住んでいます。日本語学校で日本語学習を継続できることにとても感謝しています。以前は客室乗務員として働き、30代40代にはアメリカの大学で心理学とインテリアデザインを学びました。仕事も勉学も現在の母親としての時間も、どれも比べられないくらい大切な宝です。この度ご縁があり広報で働くことになりましたが、広報のお仕事に関しては全くの素人です。背伸びをせず皆さんのお力を借りながら精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

WJLS 公式Instagramが明日（5/12）スタート！（パートナーシップ部）

ワシントン日本語学校の公式 Instagram アカウント [@wjlsofficial](https://www.instagram.com/wjlsofficial) を開設しました。明日5月12日（日）から投稿がスタートします！学校からメールで配信された1週間分のお知らせを毎週日曜日にまとめて投稿する予定です。大事な情報を見逃さないようにお役立てください。ほかにも、学校行事やファンドレイズなどの情報もお届けし、地域のコミュニティをつなぐ情報発信をしていきます。ぜひフォローをお願いします。お問い合わせは、パートナーシップ部 partnership@wjls.org まで。





YAMATO
TRANSPORT
U.S.A.

INTERNATIONAL
MOVING SERVICE



お荷物の多い方!時間のない方!
面倒なお引越は全てまかせて
ら〜くら〜!



安心

引越
らくらく 海外パック

箱に入らない家具や
自転車なども送りたい、だけど安く
済ませたい!そんな方へ



丁度
いい

ベーシックプラン

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をして節約!
すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



節約

単身プランSea

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をされる方
必要な荷物を
最短の所要日数でお届け



早い

単身プランAir

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます /

www.yamatoamerica.com/cs/



フリーダイヤル 5 4 5 6 5 8
1-866-5-KIKOKU

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店

22930 Quicksilver Drive, Unit 115
Dulles VA, 20166

Phone: (703) 661-3501

Email: wasoperat@yamatoamerica.com

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

委員長からの報告



皆様、早いものでもう5月ですね。ゴールデンウィークの帰省ラッシュやUターンラッシュが大変だったというニュースを読み、季節を感じているところです。

5月最初の授業日は、生徒会の皆さんが元気に「おはようございます！」と迎えてくれました。私も挨拶を返しましたが、大きな声であいさつすると、もちろんさわやかな気分になれますし、大きな声で息を出した分たくさん空気が取り込めるので、きっと身体にも良いのではないかと思います。

今月の管理運営委員会では、校務や事務局からの定例報告の他、パートナーシップ部新設に伴いウェブサイトに掲載している管理運営委員会各部の職務内容の見直しと承認が行われました。また、4月27日に行われた不審者侵入訓練の際に専門家の方々からいただいたフィードバックも紹介され、今後に向けた改善点が確認できたことは良かったです。

管理運営委員会では、継続的に業務内容の見直しや会議時間の短縮を目指しています。「運営はいつも何かやっているから自分になったら大変」「一日中会議してる」などと思われがちですが、効率よく進めることでより多くの方に関わりやすい場と感じていただきたいと思います。

引き続き、保護者の皆様からの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



委員長：	栗原美恵
副委員長：	牛嶋 崇
総務部：	松林拓磨（部長）・足立智子・大杉真名美・鶴見圭祐・松田真実
財務部：	グリフィン尚美（部長）・生島奈美
教育人事部：	大島由美子（部長）・ジャコブソン彩子・羽田真実子・松山徳子・向山こずえ
広報部：	竹内由美（部長）・ワイズ洋子
学年代表：	大島千枝（低学年代表）・シーブルック留実（中学年代表）・大鶴絵里（高学年代表）

